

Letter for Members 春 特別号 2003



日本補綴歯科学会

Japan Prosthodontic Society

<http://www.soc.nii.ac.jp/jpds/>

発行人 大山 喬史 編集 広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 (財) 口腔保健協会
Tel 03-3947-8891 Fax 03-3947-8341

平成15年5月8日発行

コンテンツ

進化する日本補綴歯科学会	関連学会案内	8
新執行部始動	関連学会報告	9
新執行部紹介	表彰関係	9
関連国際学会案内	第109回学術大会フォーカス	10
次回学術大会案内	広報委員会から会員の皆様へ	10
今後の学術大会案内(予定)	アンケート用紙	11, 12
支部学術大会案内		7, 8

進化する日本補綴歯科学会 新執行部始動

日本補綴歯科学会第30代会長に選出された大山喬史先生のプロフィールと所信を紹介いたします。

略歴



大山 喬史 会長

- 昭和41年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 同41年5月 東京医科歯科大学歯学部歯科第一補綴学教室 文部教官助手
- 同45年4月 鶴見大学歯学部補綴学教室 専任講師
- 同46年4月 米国イリノイ州立大学医学部頭蓋顔面奇形センター顎顔面補綴科 研究員
- 同48年4月 鶴見大学歯学部補綴学教室 講師復職
- 同49年4月 鶴見大学歯学部補綴学教室 助教授
- 同54年6月 東京医科歯科大学教授, 歯学部附属病院顎口腔機能治療部長
- 同55年4月 鶴見大学歯学部非常勤講師 現在に至る
- 同62年5月 東京医科歯科大学歯学部障害者歯科学教室教授, 顎口腔機能治療部長, 障害者歯科治療部長併任
- 平成5年4月 東京医科歯科大学歯学部附属病院 病院長(9年間)
- 同11年4月 東京医科歯科大学歯学部歯科補綴学第一講座教授
- 同12年4月 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学系摂食機能回復学講座摂食機能構築学分野 教授

学会および社会における活動等（抜粋）

- 昭和 54 年 4 月 日本補綴歯科学会評議員 関東支部会理事
- 平成 11 年 4 月 日本補綴歯科学会副会長
同年 4 月 JOC 医学サポート委員会委員
同年 5 月 文部科学省歯学委員
同年 6 月 日本学校歯科医会、スポーツ委員会委員長
- 平成 12 年 2 月 医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議委員
同年 4 月 日本歯科医学教育学会常任理事
同年 10 月 日本臨床スポーツ医学会評議員
- 平成 13 年 1 月 医学審議会委員（厚生労働省）
同年 11 月 日本臨床スポーツ医学会理事
- 平成 14 年 1 月 歯科医師試験委員（厚生労働省）
同年 9 月 関東ラグビーフットボール協会委員

平成 15・16 年度執行部の課題

川添堯彬前執行部より引き継いだ多くの課題の内、法人化、総会・学術大会年 1 回開催という懸案事項は、学会の総力をあげてもただちに行動を起こさなければならない先決事項と理解しております。

法人格には、社団法人、中間法人、NPO 法人などがありますが、まずは、法人格を取得することが本学会にとってどのようなメリット、デメリットがあるのか、またそのなかから 1 つを選択するとすればどのような違いがあるのか、よく理解しておく必要があります。具体的には、われわれの日本補綴歯科学会が法人格をもつと、国の研究推進政策、教育政策、医療政策にどのような影響力をもつことになるのでしょうか。このことについて、急ぎ情報を収集し、検討を進めるつもりです。独立した事務局（場所と専門職）の設営、法人としての機構改革、それに伴う定款の整備、支部会との関係、会費の見直しなど検討事項も多く、それでも十分な見返りが期待できるということを確認しておきたいと思っております。

総会・学術大会の年 1 回開催については、前学術委員会のアンケート調査によれば、評議員の先生の大方の意向は一致して 1 回に傾いております。

た。しかし、ただ単に 2 回を 1 回に減らすというわけにいかず、従来の学会運営の根本からの見直し、また、学会発表の機会が減ることへの対策、支部会の重みづけと本部との関係の見直しなど、幾多の問題をクリアしなければなりません。ついては、会員の先生方の英知と創造性を結集させて頂きたいと思っております。

この 2 件については、担当委員会と会務委員会とで連携を密にして検討していき、委員長会、理事会、評議員会とのやり取りの後、早い段階で総会にお諮りしたいと思っております。

さらに、もう一件。本学会より、日本歯科医師会に向けて咀嚼機能検査、発語機能検査を保険適用項目に加えて頂けるよう提言をしたいと思っております。歯科補綴学の目標は、嚥下に繋がる咀嚼機能、コミュニケーションとしての発語機能、社会の顔として大事なパーツである口もとの美を維持、回復することにあることは周知のところであり、その正しい診断と適切な治療の確立にあると思います。正しいとか、適切などいえば、そこには当然その診断・治療の結果の評価法、機能検査法をもっていることが前提ではないでしょうか。でも、現状はどうでしょうか。残念ながらもたないわれわれは、患者が「噛める」といえばそれでよし、さもなければ「そのうち慣れます」と患者を帰しているのが現状です。医科では、術前、術中、術後、当たり前のように臓器の機能検査が行われているのに、歯科では『歯科点数表の解釈』本に、なんと「咀嚼機能検査については算定できない」と記されているではありませんか。口腔の機能の維持・回復を目指して補綴臨床に従事しているものとして激しい屈辱感を覚えます。ここで、日本補綴歯科学会の総力をあげて、チェアサイドでできる咀嚼機能検査法、発語機能検査法を確立し、1 日も早く『歯科点数表の解釈』本を書き変えなければならないと思っております。

ところで、本学会でも、ここ数年来、医学分野の多くの講師をお招きして、「Evidence Based Medicine」のお話を伺ってまいりました。しかし、われわれがかかわる補綴臨床において、「これが補綴臨床の Evidence である」と共通の認識

をもつにいたっているでしょうか。何か、時間をかけてきた割には消化不良のままのように思えてなりません。これから新たに手を付けなければならないこともあるかと思いますが、過去の調査、研究のなかに埋もれてしまっているものもあるでしょう。ここで、改めてブレーン・ストーミングをかけ、先人の業績の整理とこれからの課題の顕在化を試みたいと思っております。

さらに、学会の表彰制度について、1つ提案を試みたいと思います。「優秀論文賞候補論文」は公募してはどうかということです。現在は本学会誌に掲載された論文のみが対象となっておりますが、会員の先生方は世界のジャーナルを対象に研究活動をしているように思います。補綴領域の、会員による研究であれば、日本補綴歯科学会が表彰しても決しておかしくないと思います。昨今、研究者もそうですが、開業医の先生方も大学の内外あるいは国民から厳しい評価を受ける立場に立たされております。したがって、本学会に対して著しい功績のあった方、補綴学や補綴臨床の発展に資する卓越した業績の認められた方への表彰も積極的に行いたいと思います。それは、研究者、教育者、臨床家の学内外、国民からの評価を高めることにもなり、それがまた、本人の研究意欲の向上はもちろん、研究環境の向上に繋がることと期待されるものと思います。

最後に、国際交流について。昨年、大韓歯科補綴学会との学術交流協定が交わされ、今年4月には第1回のJoint Meetingがもたれます。また、12月にはGreater New York Academy of ProsthodonticsとのJoint Meetingが開催されることになっております。国際学会はさることながら各国の歯科補綴学会との学術交流も活発になり、知的財産の共有化、グローバル化が進んで参りました。このようなことから、まずはアジア諸国との学術交流を積極的に進めたいと思っております。

おわりに、日本補綴歯科学会のため、引き続き会員の先生方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



新執行部紹介

平成15・16年度の新執行部をご紹介します。

会長：大山喬史（東京医科歯科大学大学院）
副会長：赤川安正（広島大学大学院）
副会長：野首孝祠（大阪大学大学院）
会長幹事：馬場一美（東京医科歯科大学大学院）
庶務担当理事：平井敏博（北海道医療大学歯学部）
庶務幹事：越野 寿（北海道医療大学歯学部）

学術委員会

委員長：河野正司（新潟大学大学院）
副委員長：井上 宏（大阪歯科大学）
幹 事：小林 博（新潟大学大学院）
委 員：五十嵐順正（松本歯科大学）
石島 勉（北海道医療大学）
魚島勝美（新潟大学大学院）
佐々木啓一（東北大学大学院）
福島俊士（鶴見大学歯学部）
宮地建夫（東京支部）
渡邊文彦（日本歯科大学新潟歯学部）

編集委員会

委員長：石橋寛二（岩手医科大学歯学部）
副委員長：藤田忠寛（神奈川歯科大学）
幹 事：武部 純（岩手医科大学歯学部）
委 員：小正 裕（大阪歯科大学）
塩沢育己（東京医科歯科大学）
田中昌博（大阪歯科大学）
谷口 尚（東京医科歯科大学大学院）
玉本光弘（広島大学）
中村隆志（大阪大学大学院）
宮崎 隆（昭和大学歯学部）
山森徹雄（奥羽大学歯学部）
依田正信（東北大学大学院）

会計委員会

委員長：櫻井 薫（東京歯科大学）
副委員長：川良美佐雄（日本大学松戸歯学部）
幹 事：上田貴之（東京歯科大学）
委 員：津賀一弘（広島大学大学院）

国際渉外委員会

委員長：古谷野 潔（九州大学大学院）
副委員長：佐藤 亨（東京歯科大学）
幹 事：築山能大（九州大学大学院）
委 員：池邊一典（大阪大学大学院）
竹内久裕（徳島大学歯学部）
萩原芳幸（日本大学歯学部）

用語検討委員会

委員長：田中貴信（愛知学院大学歯学部）
副委員長：三浦宏之（東京医科歯科大学大学院）
幹 事：金澤 毅（愛知学院大学歯学部）
委 員：清野和夫（奥羽大学歯学部）
豊田 實（神奈川歯科大学）
長岡英一（鹿児島大学大学院）
坂東永一（徳島大学歯学部）

医療問題検討委員会

委員長：市川哲雄（徳島大学歯学部）
副委員長：佐藤博信（福岡歯科大学）
幹 事：友竹偉則（徳島大学歯学部）
委 員：芝 燁彦（昭和大学歯学部）
服部正巳（愛知学院大学歯学部）
安田 登（東京支部）

会則等検討委員会

委員長：細井紀雄（鶴見大学歯学部）
副委員長：古屋良一（昭和大学歯学部）
幹 事：小野寺進二（鶴見大学歯学部）
委 員：熱田 充（長崎大学大学院）
岸 正孝（東京歯科大学）
森田修己（日本歯科大学新潟歯学部）

広報委員会

委員長：沖本公繪（九州大学大学院）
副委員長：北川 昇（昭和大学歯学部）
幹 事：諸井亮司（九州大学大学院）
委 員：貞森紳丞（広島大学大学院）
濱野 徹（鹿児島大学大学院）
松山美和（九州大学大学院）

法人化担当委員会

委員長：川和忠治（昭和大学歯学部）
副委員長：山内六男（朝日大学）
幹 事：割田研司（昭和大学歯学部）
委 員：齋藤文明（東京歯科大学）

実技教育検討委員会

委員長：皆木省吾（岡山大学大学院）
副委員長：河野文昭（徳島大学歯学部）
幹 事：原 哲也（岡山大学大学院）
委 員：會田雅啓（日本大学松戸歯学部）
稲井哲司（東北大学大学院）
塩山 司（岩手医科大学歯学部）
鱒見進一（九州歯科大学）

研修教育検討委員会

委員長：川崎貴生（北海道大学大学院）
副委員長：石上友彦（日本大学歯学部）
幹 事：斎藤正恭（北海道大学大学院）
委 員：大川周治（明海大学歯学部）
木村幸平（東北大学大学院）
田中卓男（鹿児島大学大学院）
野村修一（新潟大学大学院）

生涯学習検討委員会

委員長：早川 巖（東京医科歯科大学大学院）
副委員長：松村英雄（日本大学歯学部）
幹 事：鈴木哲也（東京医科歯科大学大学院）
委 員：窪木拓男（岡山大学大学院）
佐藤裕二（昭和大学歯学部）
嶋倉道郎（奥羽大学歯学部）

認定審議会

委員長：矢谷博文（大阪大学大学院）
副委員長：新谷明喜（日本歯科大学歯学部）
幹 事：石垣尚一（大阪大学大学院）
委 員：清野和夫（東北・北海道支部，奥羽大
学歯学部）
小出 馨*（関越支部，日本歯科大学新
潟歯学部）
大川周治*（東関東支部，明海大学歯学
部）

三浦宏之* (東京支部, 東京医科歯科大学大学院)
 藤田忠寛* (西関東支部, 神奈川歯科大学)
 田中貴信 (東海支部, 愛知学院大学歯学部)
 野首孝祠* (関西支部, 大阪大学大学院)
 皆木省吾 (中国・四国支部, 岡山大学大学院)
 田中卓男 (九州支部, 鹿児島大学大学院)
 平井敏博 (庶務担当理事, 北海道医療大学歯学部)
 河野正司 (学術担当理事, 新潟大学大学院)

(*平成 15 年選任)

認定審議会小委員会

委員長：矢谷博文 (大阪大学大学院)
 副委員長：新谷明喜 (日本歯科大学歯学部)
 幹事：石垣尚一 (大阪大学大学院)
 委員：赤川安正 (副会長, 広島大学大学院)
 野首孝祠 (副会長, 大阪大学大学院)
 平井敏博 (庶務担当理事, 北海道医療大学歯学部)
 河野正司 (学術担当理事, 新潟大学大学院)

認定医審査委員

東北・北海道支部
 委員：越智守生 (北海道医療大学歯学部)
 佐々木啓一 (東北大学大学院)
 関越支部
 委員：小林 博 (新潟大学大学院)
 渡邊文彦 (日本歯科大学新潟歯学部)
 東関東支部
 委員：嶋村一郎 (東京歯科大学)
 成田紀之 (日本大学松戸歯学部)
 東京支部
 委員：石上友彦 (日本大学歯学部)
 佐藤裕二 (昭和大学歯学部)

西関東支部
 委員：阿部 實 (鶴見大学歯学部)
 森戸光彦 (鶴見大学歯学部)
 東海支部
 委員：鷹股哲也 (松本歯科大学)
 山内六男 (朝日大学)
 関西支部
 委員：小正 裕 (大阪歯科大学)
 前田芳信 (大阪大学)
 中国・四国支部
 委員：貞森紳丞 (広島大学大学院)
 中野雅徳 (徳島大学歯学部)
 九州支部
 委員：寺田善博 (九州大学大学院)
 藤井弘之 (長崎大学大学院)

平成 15・16 年度の支部長

東北・北海道支部	木村幸平 (東北大学大学院)
関越支部	野村修一 (新潟大学大学院)
東関東支部	松本敏彦 (日本大学松戸歯学部)
東京支部	早川 巖 (東京医科歯科大学大学院)
西関東支部	森戸光彦 (鶴見大学歯学部)
東海支部	五十嵐順正 (松本歯科大学)
関西支部	江藤隆徳 (大阪歯科大学)
中国・四国支部	中尾勝彦 (中国・四国支部)
庶務担当	濱田泰三 (広島大学大学院)
九州支部	佐藤博信 (福岡歯科大学)



関連国際学会案内

国際渉外委員会 委員長 古谷野 潔

Greater New York Academy of Prosthodontics (GNYAP) と日本補綴歯科学会の共催学会のご案内

日本補綴歯科学会は、本年12月に Greater New York Academy of Prosthodontics (GNYAP) との共催学会をニューヨークにおいて開催します。その詳細は以下の通りです。つきましては、当共催学会に本会会員からポスター発表を募集いたしますので、是非とも多くの方のご応募をお願いいたします。また、この共催学会を成功させるためにも、共同演者を含め多くの方のご参加を是非ともご検討くださるようお願いいたします。

GNYAP とは？

GNYAP は、ニューヨークを中心とした米国東海岸の大学の補綴学研究者および補綴学を専門とする臨床医の学会で、会員になるための関門も高く、また年2回開催される学術大会の内容もレベルの高い学会です。毎年6月には会員を目指す準会員による発表のみのクローズドな会が開催されます。一方12月には、高名な研究者や臨床家による45分程度の講演を中心とした非会員も参加可能なオープンな会が開催されます。この12月の大会は、毎年クリスマスシーズンに、かのプラザホテルで開催されるということで、高い学術レベルばかりでなく、クリスマスのニューヨークとプラザホテル、ディナーパーティなどの独特の雰囲気のために米国でも一目おかれる大会です。

(GNYAP のホームページ：

<http://www.prosthodontics.org/forum/gnyap/>)

●共催学会 (GNYAP) について●

日時：2003年12月5日(金)、6日(土)

場所：ニューヨーク・プラザホテル

日本補綴歯科学会より招待講演1題、ポスター発表12題を発表予定

ポスター演題、抄録締切：2003年5月15日(木)

*ポスター募集の詳細については日本補綴歯科学会のホームページをご覧ください。

*この共催学会に関するすべての申し込み手続きは国際渉外委員会宛にお願いします。

International College of Prosthodontists (ICP) のご案内

2年に1度開催されるICPの学術大会が本年7月にカナダで開催されます。

日時：2003年7月9日(水)～13日(日)

場所：Casino Nova Scotia, Halifax, Nova Scotia, Canada

主な focus session：

- 1) Innovations in Prosthodontic Technologies
遺伝子治療をはじめとした補綴治療のイノベーションについて世界の第一線の研究者6名が講演。
- 2) International Prosthodontic Training Program
世界各国の補綴専門医制度と補綴専門医養成プログラムに関する講演とディスカッション。
- 3) The Toronto Summit Symposium
Dr. Zarbの呼びかけで2002年11月にトロントで開催された補綴学に関する国際シンポジウムの要約。

- 4) Current Controversies in Implant Prosthodontics

インプラント補綴治療の最新の問題点について世界の第一線の研究者5名が講演。

なお、詳細については、ICPのホームページ (<http://www.icp-org.com/>) をご覧ください。

Asian Academy of Prosthodontics (AAP) のご案内

日時：2003年11月15日(土)～16日(日)

場所：Taipei Howard International House Taipei, 台北市 (台湾)

大会長：Dr. Yuh-Yuan Shiau (Taiwan)

Keynote speakers：

Drs. J. Beumer and S. Javonovic (UCLA)

事前登録締切：2003年9月30日

NC VERACIA

ナノテクノロジーと
機能的形態が融合した 新人工歯 硬質レジン歯

NC Veracia

医療用具承認番号 21100BZZ00751

NC ヘラシア アンテリア

硬質レジン歯(前歯用)1組…¥780 色調：A1、A2、A3、A3.5、B2
形態：上顎5形態、下顎3形態

医療用具承認番号 21200BZZ00272

NC ヘラシア ポステリア

硬質レジン歯(臼歯用)1組…¥1,040 色調：A2、A3、A3.5、B2
形態：上下顎各2種

価格は2002年11月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



世界的歯科医に貢献する
株式会社 松風

本社●〒605-0983京都市東山区福福上高松町11 TEL(075)561-1112(代)

Indian Prosthodontic Society Congress (World Congress on Prosthodontics) のご 案内

第31回インド補綴学会学術大会が開催されます。
日時：2003年11月26日(水)～29日(土)
場所：ニューデリー(インド)
*なお、この学会は1992年に広島で開催されたWCPとはまったく別のものです。
*詳細はホームページ(<http://www.wcp2003.com/#>)をご覧ください。

● IADR 案内 ●

Dear Prosthodontic Group Members,

The attached Word file is being distributed at the request of President-elect Angus Walls. It provides information about and the registration form for a jointly sponsored meeting entitled, "Oral Health Care for the Frail Older Person". It is scheduled for June 23 and 24 in Goteborg, Sweden. If you have any questions, please contact Dr. Walls directly (A.W.G.Walls@newcastle.ac.uk).

Sincerely,
Anthony Gegauff,
secretary-treasurer,
IADR Prosthodontic Group

次回学術大会案内

第110回日本補綴歯科学会学術大会

開催日：平成15年10月24日(金)、25日(土)
会場：長野県県民文化会館



主管校：松本歯科大学
大会長：甘利光治(松本歯科大学歯科補綴学第2講座)

実行委員長：五十嵐順正(松本歯科大学歯科補綴学第1講座)

メインテーマ：未定

特別講演：

田中康夫氏(長野県知事)

演題・抄録締切：

詳細は補綴誌第47巻2号をご覧ください。

*多数の参加をお願いいたします。



今後の学術大会案内(予定)

第111回日本補綴歯科学会学術大会

開催日：平成16年春

会場：文京シビックホール

大会長：大山喬史(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食機能回復学講座摂食機能構築学分野)

第112回日本補綴歯科学会学術大会

開催日：平成16年秋

会場：神奈川県内

大会長：豊田 實(神奈川歯科大学歯科補綴学講座)

支部学術大会案内

東北・北海道支部

開催日：平成15年9月6日(土)

会場：奥羽大学第二講義棟

大会長：清野和夫(奥羽大学歯学部歯科補綴学第2講座)

関越支部

開催日：平成15年9月21日(日)

会場：栃木県歯科医師会館

大会長：森田修己(日本歯科大学新潟歯学部歯科補綴学第3講座)

東関東支部

開催日：平成16年2月予定

会場：未定

大会長：未定

東京支部

開催日：平成 16 年 2 月 21 日（土）

会 場：日本大学会館

大会長：三浦宏之（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食機能保存学講座摂食機能保存学分野）

西関東支部

開催日：未定

会 場：未定

大会長：藤田忠寛（神奈川歯科大学高次口腔科学研究所）

東海支部

開催日：平成 15 年 11 月 30 日（日）

会 場：浜松市・アクトシティ

大会長：未定

関西支部

開催日：平成 16 年 3 月 予定

会 場：未定

大会長：江藤隆徳（大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科）

中国・四国支部

開催日：平成 15 年 9 月 7 日（日）

会 場：鳥取県民文化会館

大会長：伊藤楯樹（鳥取県歯科医師会学術担当理事）

庶務担当：窪木拓男（岡山大学大学院医歯学総合研究科顎口腔機能制御学分野）

九州支部

開催日：平成 15 年 11 月 30 日（日）

会 場：沖縄県歯科医師会館

大会長：佐藤博信（福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野）

第 23 回日本老年学会（第 45 回日本老年医学会，第 45 回日本老年社会科学学会，第 26 回日本基礎老化学会，第 18 回日本老年精神医学会および第 14 回日本老年歯科医学会）と第 2 回日本ケアマネジメント学会（共催）

<http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~pros2/ronen/index1.html>

●第 33 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会

開催日：平成 15 年 7 月 18 日（金）～20 日（日）

会 場：名古屋国際会議場

大会長：蒔田真人（敬天堂歯科医院）

準備委員長：堀田康記（堀田歯科医院）

メインテーマ「わが国における口腔インプラントの最先端」

問合せ先：敬天堂歯科医院，担当：松本幹広

TEL：054-251-0108（直通） FAX：052-251-0359

E-Mail：keitendo@www1.e-machisite.net

<http://www.shika-implant.org/>

●第 20 回日本顎顔面補綴学会

開催日：平成 15 年 9 月 26 日（金），27 日（土）

会 場：鶴見大学会館

大会長：瀬戸暁一（鶴見大学歯学部口腔外科学第一講座）

●第 13 回日本磁気歯科学会学術大会

開催日：平成 15 年 11 月 22 日（土），23 日（日）

会 場：神奈川歯科大学研修センター

大会長：豊田 實（神奈川歯科大学歯科補綴学講座）

関連学会案内

●第 14 回日本老年歯科医学会学術大会

開催日：平成 15 年 6 月 18 日（水）～20 日（金）

会 場：名古屋国際会議場

大会長：川口豊造（愛知学院大学歯学部歯科補綴学第二講座）

準備委員長：服部正巳（愛知学院大学歯学部歯科補綴学第二講座）



『GC』

硬質レジンを超えたグラディア。天然歯の美しさと強さを実現しました。

光重合型 MFR/ハイブリッド超硬質レジン

GRADIA

インレー/クラウン/前装冠用

ジーシーグラディア

発売元 株式会社 ジーシー / 製造元 株式会社 ジーシーデンタルプロダクツ

関連学会報告

●日本顎口腔機能学会第30回学術大会・20周年記念大会

平成15年4月19日(土)、20日(日)に岡山大学歯学部第一講義室において皆木省吾教授(岡山大学大学院)を大会長として開催されました。今大会は第30回学術大会と20周年記念大会の併催で、石岡 靖先生(新潟大学名誉教授)、丸山剛郎先生(大阪大学名誉教授・東京歯科大学客員教授)、長谷川成男先生(明倫短期大学教授)による特別講演や各賞受賞者による受賞記念講演が行われました。また、20周年記念公開シンポジウムとして『顎機能異常(顎関節症)と関連医学の接点を求めて』というテーマで5人の先生方によるシンポジウムも開かれました。

表彰関係

第109回日本補綴歯科学会総会(5月9日12:30~)において、以下の表彰が行われます。

●平成14年度学会特別功労賞

田中久敏 第28代会長
井上昌幸 名誉会員
内田康也 名誉会員
柳生嘉博 名誉会員
山縣健佑 名誉会員
横塚繁雄 名誉会員
吉田恵夫 名誉会員

●学会論文賞

論文掲載号
細井紀雄(鶴見大学歯学部) PRP Vol. 1, No. 1
[Functional Efficacy of Full Balanced Occlusion and Lingualized Occlusion Evaluated from Morphological Differences in the Edentulous Alveolar Ridge]

渡辺 誠(東北大学大学院) 補綴誌第46巻5号
[顎関節症の治療に伴う咬合接触面積の動態に関する研究]

●特定推進研究優秀賞

友竹偉則(徳島大学歯学部) 補綴誌第46巻1号
[インパルス衝撃応答と骨髄圧によるオッセオインテグレーションの評価]

大平千之(岩手医科大学歯学部) 補綴誌第46巻1号
[視感色濃度値を基準とした天然歯の色体系の作成]

●中堅優秀論文賞

永尾 寛(徳島大学歯学部) PRP Vol. 1, No. 1
[Influence of Changes in Occlusal Vertical Dimen-

sion on Tongue Pressure to Palate during Swallowing]

塩山 司(岩手医科大学歯学部) PRP Vol. 1, No. 1
[Clinical Evaluation of Full Coverage Crowns Ten Years after Placement]

●奨励論文賞

西巻 仁(日本歯科大学新潟歯学部) 補綴誌第46巻1号

[歯科治療時の体位による下顎位の変化に関する臨床的研究]

関本智信(新潟大学大学院) 補綴誌第46巻2号
[ガイド傾斜角度の実験的変化が犬歯の脈動に及ぼす影響]

春野雅俊(鹿児島大学歯学部) 補綴誌第46巻3号
[総義歯の交叉咬合排列が発音に及ぼす影響—語音明瞭度検査による分析—]

柳澤洋之(昭和大学歯学部) 補綴誌第46巻4号
[高分子電解質錯体膜上に培養した細胞の接着性とシグナル伝達性について]

菱田桃子(東京医科歯科大学大学院) 補綴誌第46巻5号

[高齢者の歯と人工歯との色彩学差異に関する研究]

●第108回学術大会課題口演コンペティション優秀賞

呉 相鎬(徳島大学歯学部)、十河基文(大阪大学)、武部 純(岩手医科大学歯学部)、田中順子(大阪歯科大学)、細見暁子(新潟大学大学院)、村田比呂司(広島大学大学院)

●第108回学術大会デンツプライ賞

宇佐美博志(愛知学院大学歯学部)、加来 賢(東京医科歯科大学大学院)、清水太加志(昭和大学歯学部)、田中みか子(新潟大学大学院)、羽毛田 匡(東京医科歯科大学)、藤波由希子(東京医科歯科大学大学院)

優れた機能性と
高い審美性を追求しています



ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪3-26-33 秀和品川ビル6F

TEL. 03-5423-4491 FAX. 03-5423-4521

<http://www.nobelbiocare.com>

第 109 回学術大会フォーカス

メインテーマ：「新しい歯科補綴のパラダイム
—補綴における美の追求—」

大会長：石上 友彦

第 109 回日本補綴歯科学会学術大会は、平成 15 年 5 月 9 日（金）～11 日（日）に東京の品川区立総合区民会館「きゅりあん」で開催される運びとなりました。ここに、ご支援をいただいた会員の皆様や関連の皆様にご挨拶を代表して心からお礼申し上げます。

本大会はメインテーマに沿って補綴治療の大きな要素である自然美、機能美を含めコーディネートさせていただきました。「技に徹すれば理に通じ、美しい物には美しい理由がある」このエビデンスを見詰め、追求することにより、補綴の専門性もディスカッションしていただければ幸いです。

東京大学工学部の原島 博教授に「いい笑顔—コンピュータで探る—」と題してメインテーマに対する特別講演をいただき、続くメインシンポジウムでは「形態・機能美からトータルな美へ」と題して美の原点を探ります。このほか臨床シンポジウム 1「磁性アタッチメントを用いた補綴臨床」、臨床シンポジウム 2「SDA（短縮歯列）のコンセプト—その運用と限界—」、臨床教育研修「診療ガイドライン」、研究教育研修「医療における物語と対話—EBM vs NBM—」、技術・技工セッション「歯冠色補綴における美の追求」を企画させていただきました。また、研究発表は、国際セッションを含めて 136 題を予定しております。

口演発表、ポスター発表をはじめ展示会場も含め、多くの皆様の参加と活発なディスカッションをお願い申し上げます。



きゅりあん

広報委員会から会員の皆様へ

広報委員会委員長 沖本公繪
大山会長のもと、初めて開催される第 109 回日本補綴歯科学会学術大会日「Letter for Members 春 特別号 2003」をお届けします。

われわれ広報委員会は、「Letter for Members」が会員と執行部の双方向の意見交換が可能になる情報提供メディアの役割をはたしたいと考えております。

学術関係のトピックスはもちろん、いかに会が運営されているのか、今抱えている問題は何か、補綴の現状と将来を展望するための多方面からの情報を、できるだけリアルタイムで、多くの会員の皆様に情報をお届けできるように務めていきたいと考えております。

どうぞご一読くださいますようお願い申し上げます。

日本補綴歯科学会や広報委員会に対する会員の皆様の率直なご意見、ご感想をお尋ねするために、広報委員会専用のメールアドレス【kohoips@dent.kyushu-u.ac.jp】を設けております。是非ご利用下さい。

また、今回は学術大会や日本補綴歯科学会に対するご意見、ご感想をいただくための専用ページを、ニュースレターの最後に設けました。

会員皆様の率直な「声」をお待ちしております。記入後は一部切り離し所定の回収箱にお入れ下さいますようお願い申し上げます。

学会および広報委員会へのご意見ご要望をお寄せください

日本補綴歯科学会広報委員会

委員長：沖本公繪 副委員長：北川 昇

委員：貞森紳丞、濱野 徹、松山美和

幹事：諸井亮司

TEL：092-642-6371, FAX：092-642-6374

E-mail：kohoips@dent.kyushu-u.ac.jp

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座
咀嚼機能制御学分野

MEMO

学術大会に関するご意見

切り取り線

日本補綴歯科学会に対するご意見・ご希望

広報委員会に対するご意見・ご希望

アンケートボックスへご投函下さい

学術大会に関するご意見

切り取り線

日本補綴歯科学会に対するご意見・ご希望

広報委員会に対するご意見・ご希望